

広島市植物公園 見どころ案内

ミズバショウ

(サトイモ科)

白い部分は仏炎苞(ぶつえんほう)といい、その中央に小さな花が円柱状に集まっています。

ツバキ園

(ツバキ科)

大輪のヒゴツバキや海外で育成されたツバキの品種がたくさん咲いています。

オキナグサ

(キンポウゲ科)

黒に近い赤花でビロードのような毛に覆われています。

ヤチマタイカリソウ

(メギ科)

四国と九州のみに自生するイカリソウの仲間の希少種です。

ゼラニウム展

～4月20日(水)

大正～昭和初期に流行した変わり葉ゼラニウムなど、貴重なコレクションもあります。

[展示温室にて]

ハンギングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。春を感じるパステルカラーをテーマに、パンジー、エレモフィラ、シロタエギクなどを使っています。

[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

クレマチス・アーマンディー

(キンポウゲ科)

常緑で春咲きのクレマチスです。最盛期はフェンスが白い花で覆いつくされます。

コブシとハクモクレン

(モクレン科)

日本原産のコブシと中国原産のハクモクレンが咲いています。花の向きや形など、違いを見比べてみてください。

サクラ

(バラ科)

‘染井吉野’、‘紅枝垂’、‘陽光’など、芝生広場を囲むように咲いています。サクラの足元にあるコバノミツバツツジも咲き始めました。

ゲンカイツツジ

(ツツジ科)

ツツジのなかでも特に花期は早いです。玄海灘をはさんで、九州北部、対馬、済州島、朝鮮半島などに分布しています。

モクレン園

(モクレン科)

‘ウェルバニカ’など、さまざまな園芸品種が開花中です。

押し花美術作品展

～5月11日(水)

四季折々の植物を素材として、季節ごとの情景を描いた押し花作品を展示します。

[展示資料館1階展示室にて]

